

追加説明資料

1. 砂防事業一覧	P 1
2. 鍋田川砂防事業(旧称 寺川右支溪砂防事業)	P 2
3. 古淵川第2支溪砂防事業	P 4
4. 北川砂防事業	P 6
5. 権現川砂防事業	P 8
6. 奥山大谷砂防事業	P 10
7. 津田川第1支溪砂防事業	P 12

砂防事業一覧

	事業名	事業内容	事業費	完成予定年度	B/C	進捗率	対応方針原案
1	鍋田川	砂防えん堤 1基	3.0億円	H30 (H24)	4.73 (5.12)	用地0% 工事0%	事業継続
2	古淵川第2支溪	砂防えん堤 1基	2.0億円	H29 (H23)	5.47 (5.88)	用地0% 工事0%	事業継続
3	北川	砂防えん堤 4基	8.4億円	H33 (H29)	2.20 (2.30)	用地0% 工事0%	事業継続
4	権現川	砂防えん堤 1基	2.2億円	H29 (H25)	2.79 (3.10)	用地0% 工事0%	事業継続
5	奥山大谷	砂防えん堤 1基	2.2億円	H29 (H25)	2.64 (2.70)	用地0% 工事0%	事業継続
6	津田川第1支溪	砂防えん堤 1基	1.8億円	H29 (H25)	2.17 (2.36)	用地0% 工事0%	事業継続
7	宮川	溪流保全工	—	—	—	—	—
8	見出川	溪流保全工	—	—	—	—	—

※()内は、前回審議時点

※7, 8については、計画を見直し中であるため来年度審議予定

■上位計画

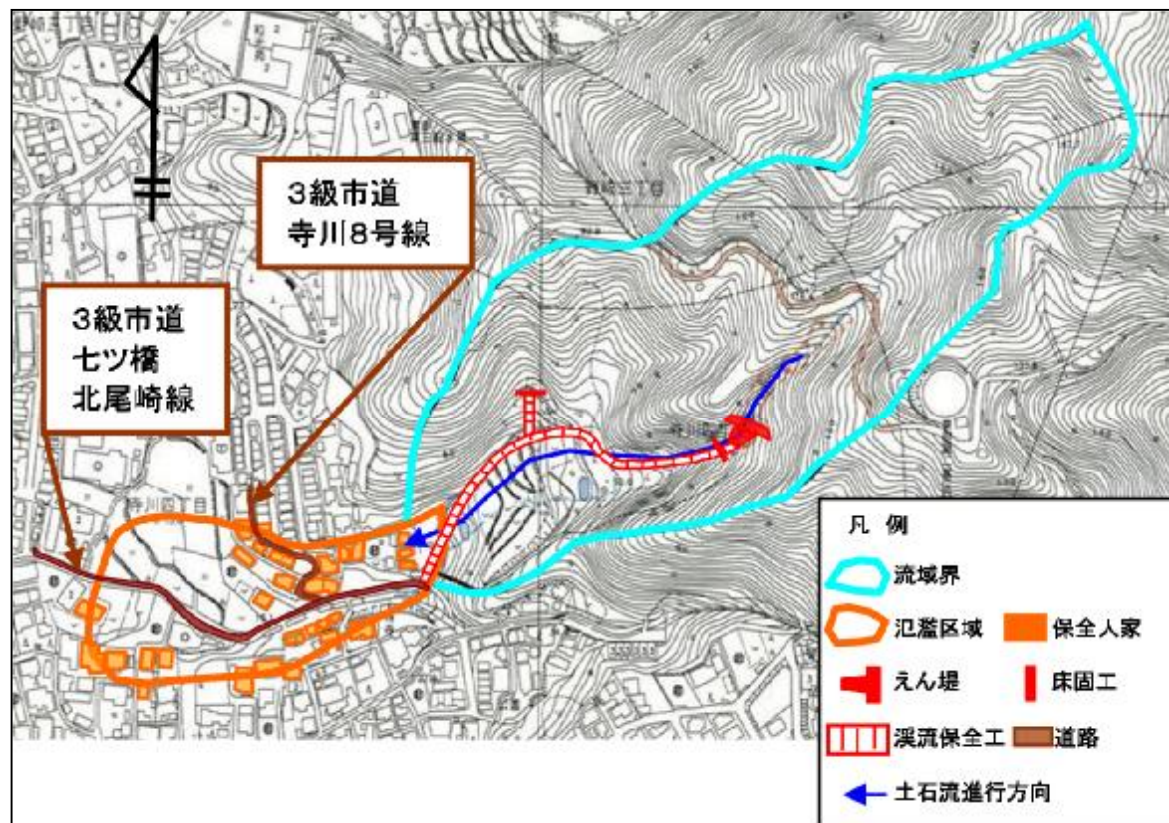
大阪府都市整備中期計画(案)[H24.3]

鍋田川砂防事業 (旧称 寺川右支溪砂防事業)

再評価要件 事業採択後5年間未着工

事業概要

土石流の発生による災害から、府民の生命・財産を保護するため、砂防えん堤を整備する



鍋田川砂防事業 (旧称 寺川右支溪砂防事業)

事業内容

砂防えん堤 1基 高さ $H=8.0\text{m}$ 幅 $W=42.0\text{m}$

○工期 H19 ~ H30 (H24) 【6年延期】

〈変更理由〉地籍混乱に伴う法務局等との調整に日数を
費やしたため

○全体事業費

3.0億円 (国1.5億円、府1.5億円) 【変更なし】

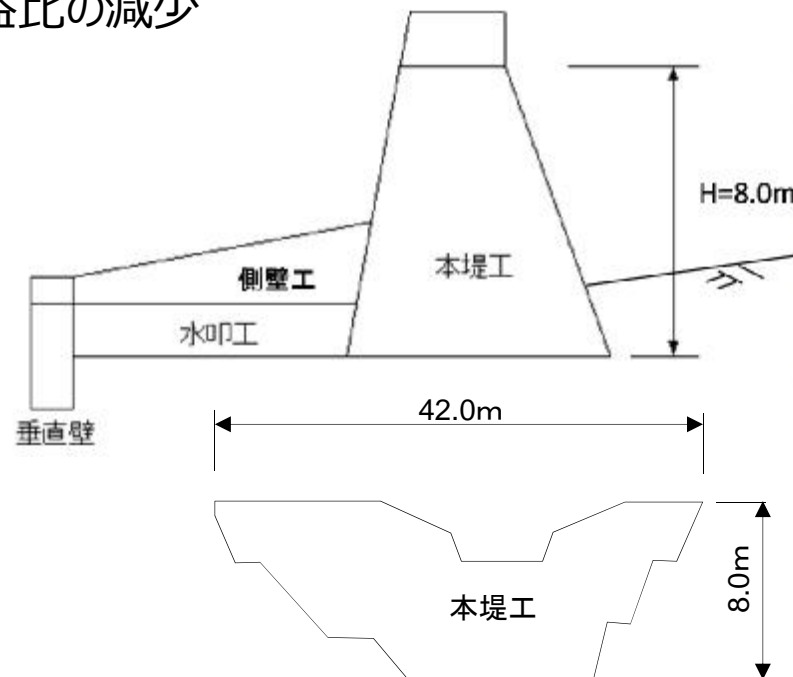
○費用便益比 4.73 (5.12) 【7.6%減少】

〈変更理由〉人口分布変化等による人的被害額の減少に伴う
費用便益比の減少

○進捗状況

全体 13%

0.4/3.0 (億円)
用地 0%
0.0/0.3 (億円)
工事 0%
0.0/2.3 (億円)

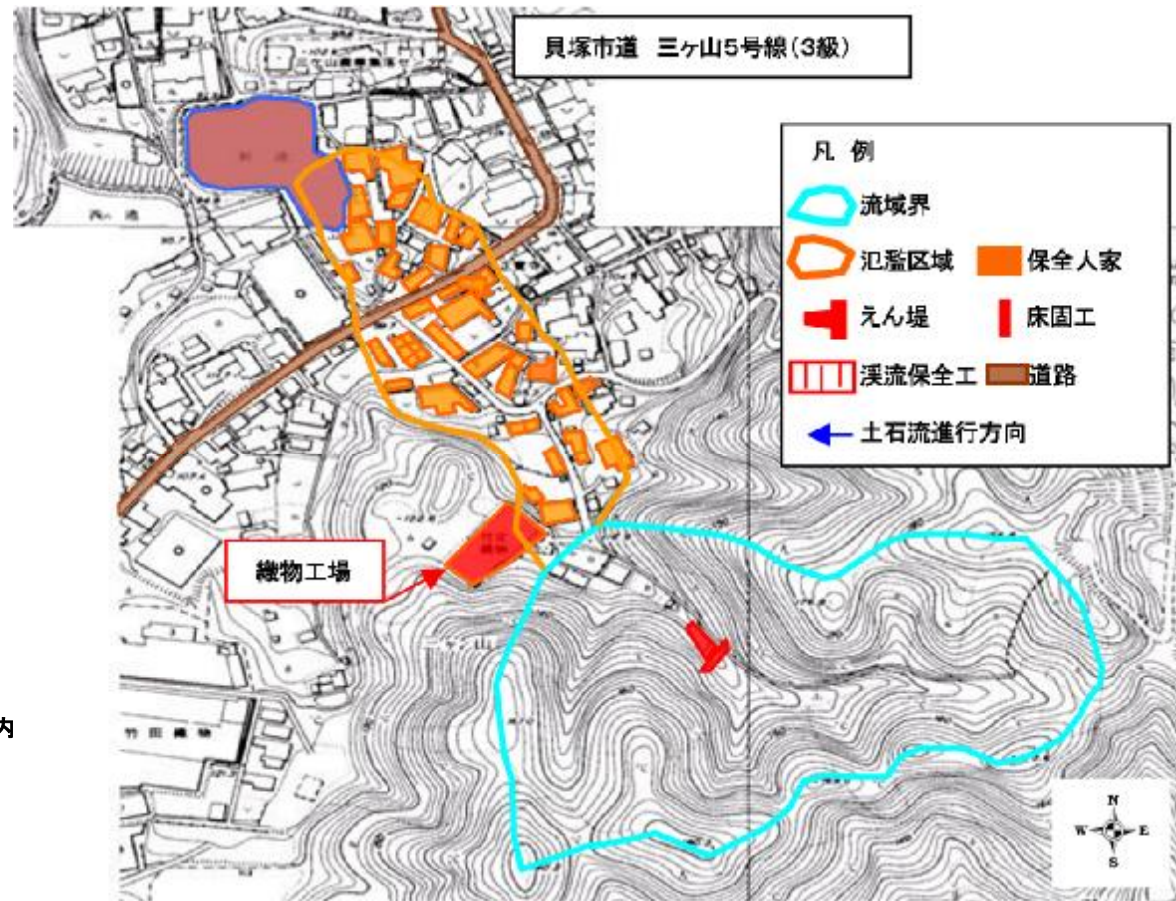
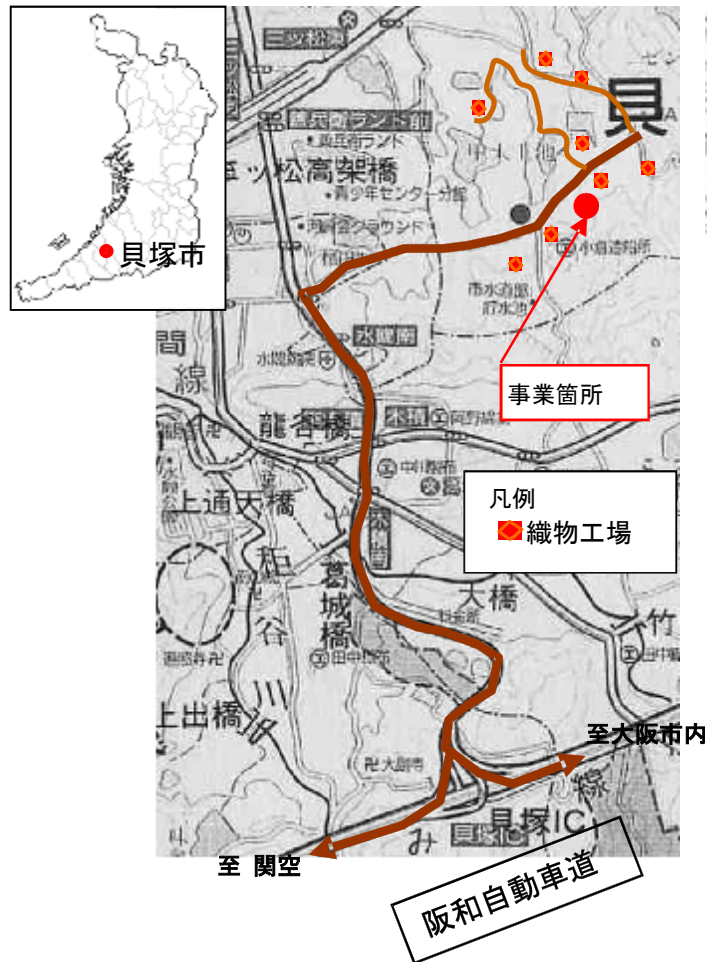


古淵川第2支溪砂防事業

再評価要件 事業採択後5年間未着工

事業概要

土石流の発生による災害から、府民の生命・財産を保護するため、砂防えん堤を整備する



古淵川第2支溪砂防事業

事業内容

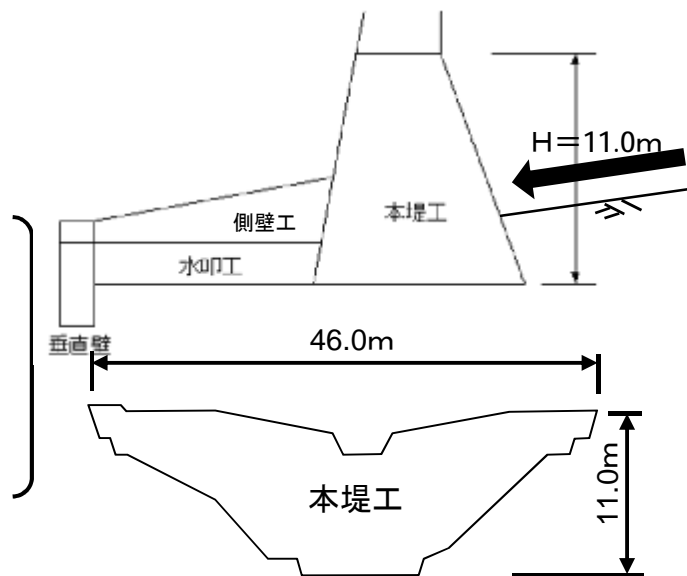
砂防えん堤 1基 高さ $H=11.0\text{m}$ 幅 $W=46.0\text{m}$

- **工期 H19 ~ H29 (H23) 【6年延期】**
〈変更理由〉権利者（相続人・共有名義）の確認に日数を要したため
- **全体事業費 2.0億円（国1.0億円、府1.0億円）【変更なし】**
- **費用便益比 5.47（5.88）【7.0%減少】**
〈変更理由〉人口分布変化等による人的被害額の減少に伴う費用便益比の減少

○進捗状況

全体 15%

0.3/2.0（億円）
用地 0%
0.0/0.4（億円）
工事 0%
0.0/1.3（億円）

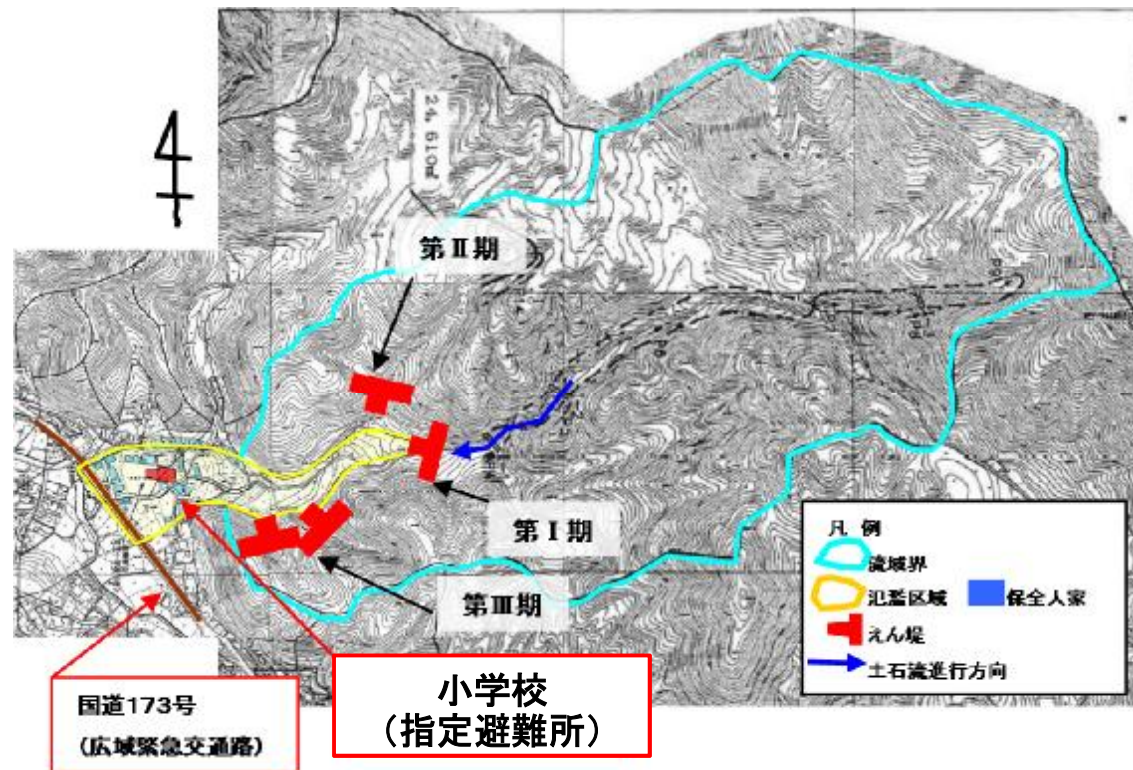


北川砂防事業

再評価要件 事業採択後5年間未着工

事業概要

土石流の発生による災害から、府民の生命・財産を保護するため、砂防えん堤を整備する



北川砂防事業

事業内容

砂防えん堤 4基

- ・第Ⅰ期 1基 堤高：7.5m、堤長：66.5m
- ・第Ⅱ期 1基 堤高：10.0m、堤長：43.0m
- ・第Ⅲ-1期 1基 堤高：13.0m、堤長：37.0m
- ・第Ⅲ-2期 1基 堤高：12.5m、堤長：38.0m

○工期 H21 ~ H33 (H29)【4年延期】

〈変更理由〉地籍混乱に伴う法務局等との調整に日数を費やしたため

○全体事業費

8.4億円 (国4.2億円、府4.2億円)【変更なし】

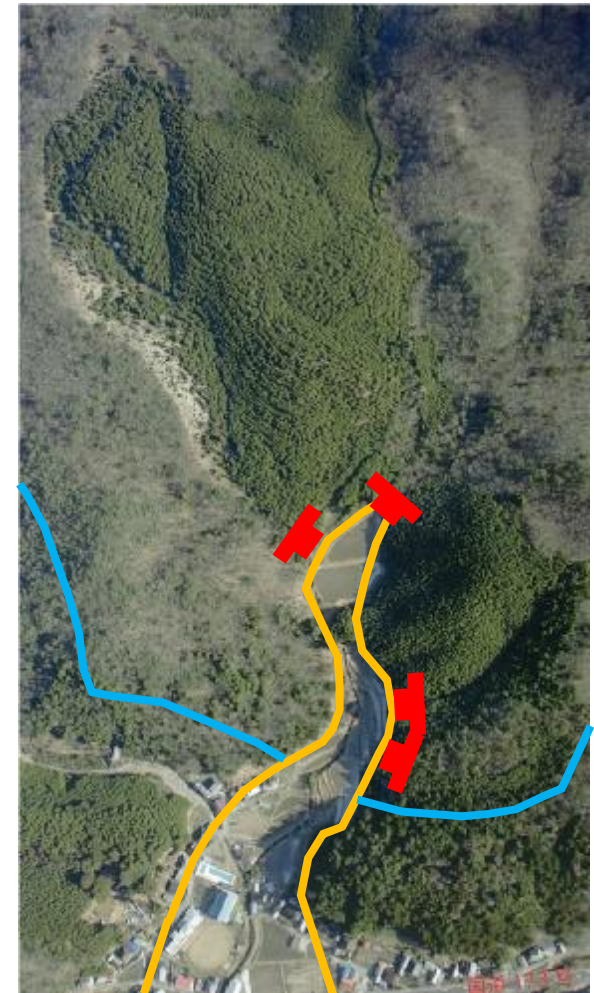
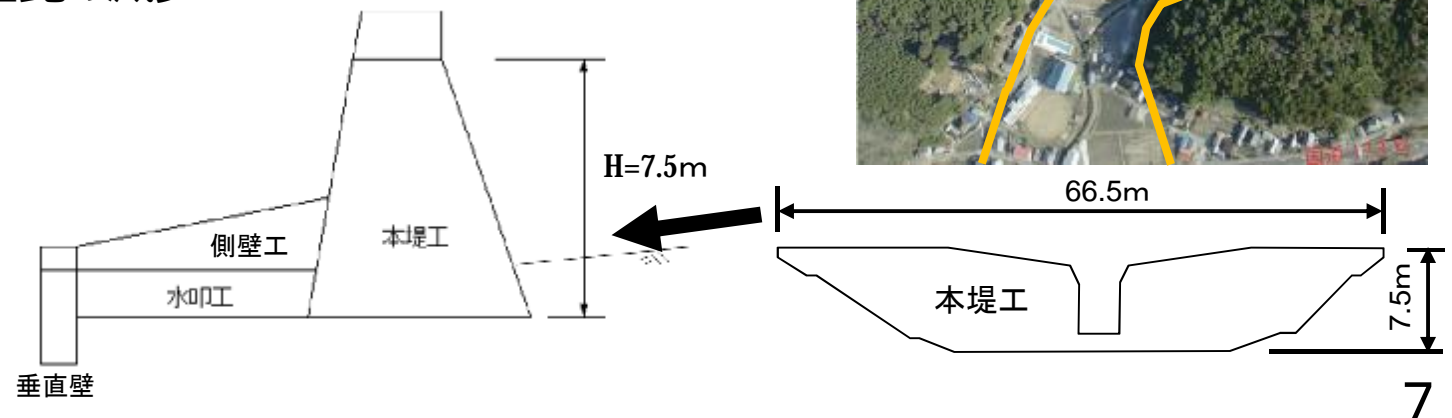
○費用便益比 2.20 (2.30)【4.3%減少】

〈変更理由〉人口分布変化等による人的被害額の減少に伴う費用便益比の減少

○進捗状況

全体 2%

0.2/8.4 (億円)
用地 0%
0.0/1.2 (億円)
工事 0%
0.0/6.4 (億円)

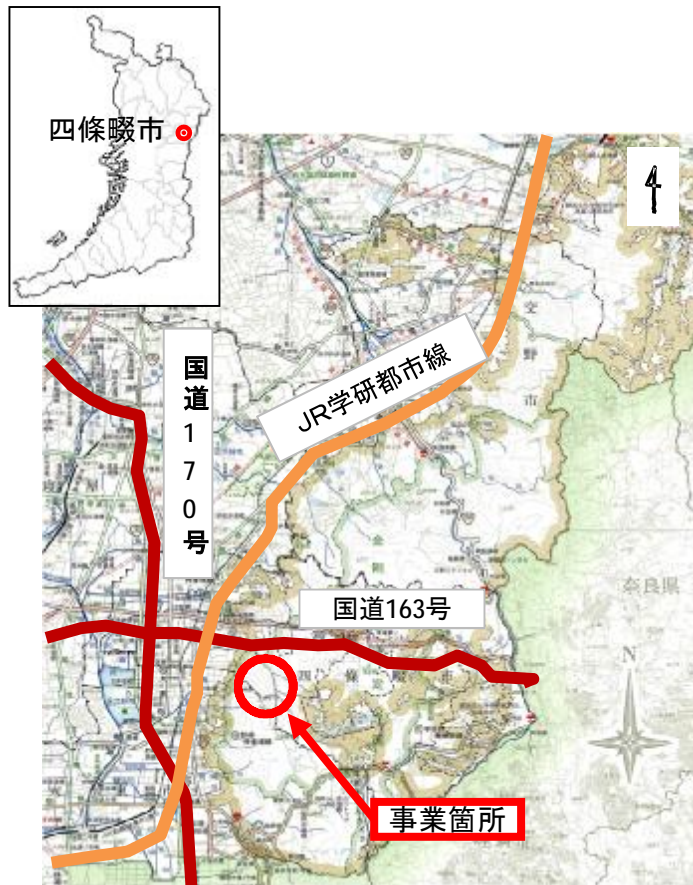


権現川砂防事業

再評価要件 事業採択後5年間未着工

事業概要

土石流の発生による災害から、府民の生命・財産を保護するため、砂防えん堤を整備する



権現川砂防事業

事業内容

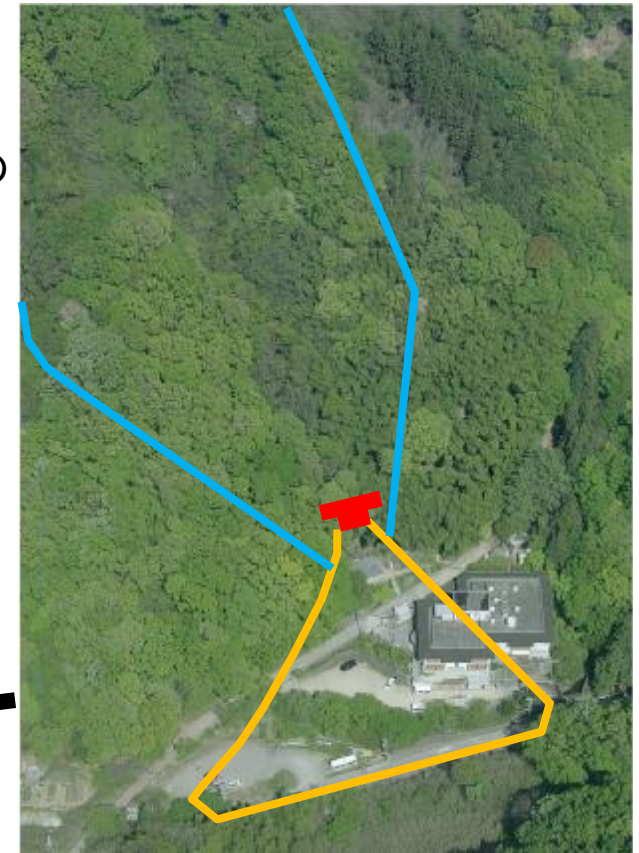
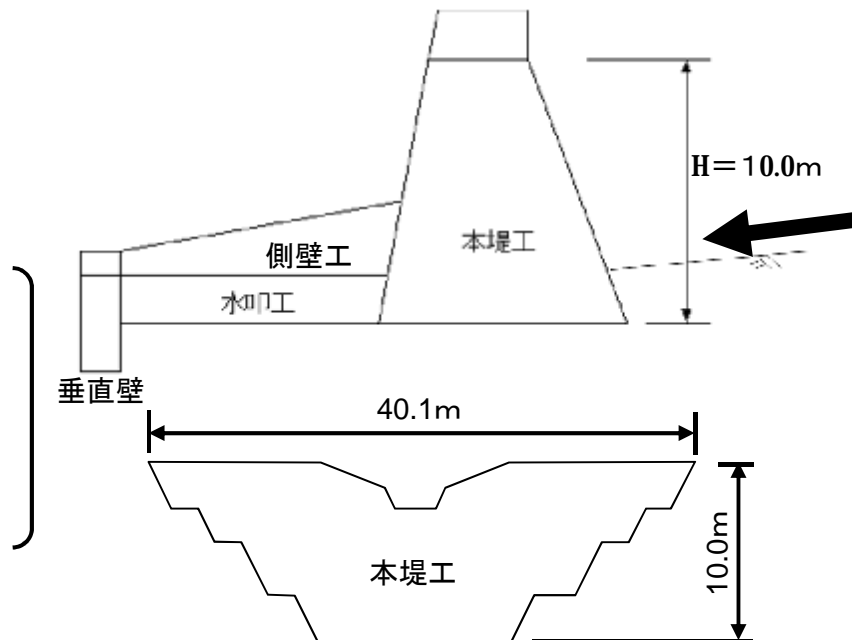
砂防えん堤 1基 高さ $H=10.0\text{m}$ 幅 $W=40.1\text{m}$

- **工期 H21 ~ H29 (H25) 【4年延期】**
〈変更理由〉権利者（占有者）との調整に日数を費やしたため
- **全体事業費 2.2億円（国1.1億円、府1.1億円）【変更なし】**
- **費用便益比 2.79（3.10）【10%減少】**
〈変更理由〉人口分布変化等による人的被害額の減少に伴う費用便益比の減少

○進捗状況

全体 9%

0.2/2.2（億円）
用地 0%
0.0/0.4（億円）
工事 0%
0.0/1.6（億円）

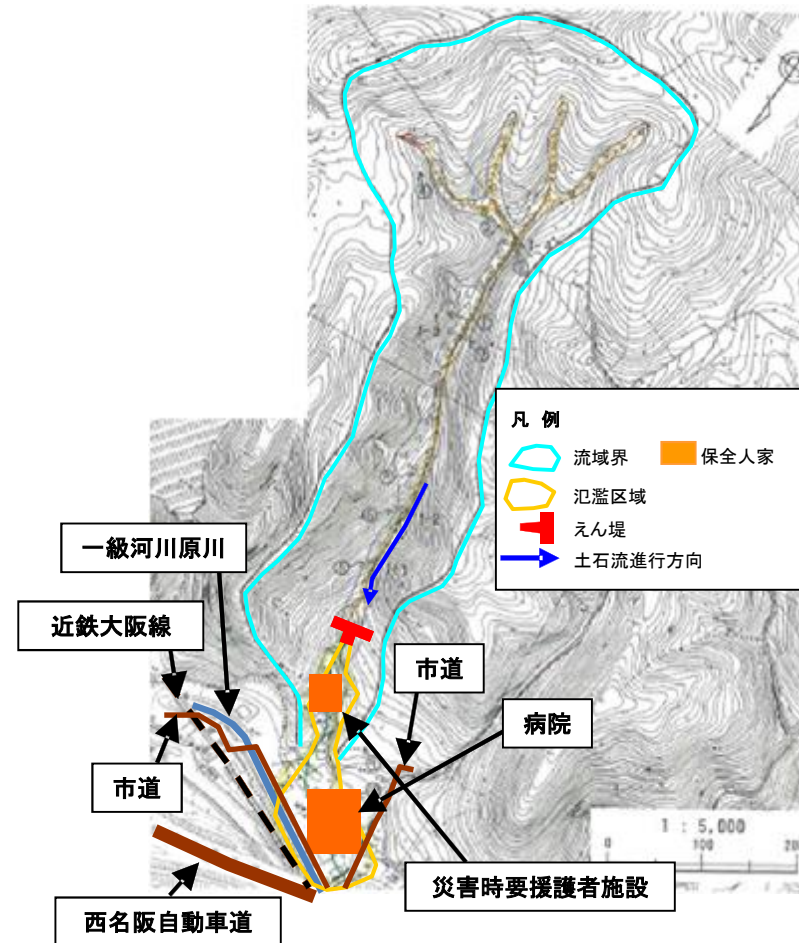


奥山大谷砂防事業

再評価要件 事業採択後5年間未着工

事業概要

土石流の発生による災害から、府民の生命・財産を保護するため、砂防えん堤を整備する



奥山大谷砂防事業

事業内容

砂防えん堤 1基 高さ $H=14.5\text{m}$ 幅 $W=55.0\text{m}$

○工期 H21 ~ H29 (H25) 【4年延期】

〈変更理由〉地籍混乱による法務局等との調整に日数を費やしたため

○全体事業費

2.2億円 (国1.1億円、府1.1億円) 【変更なし】

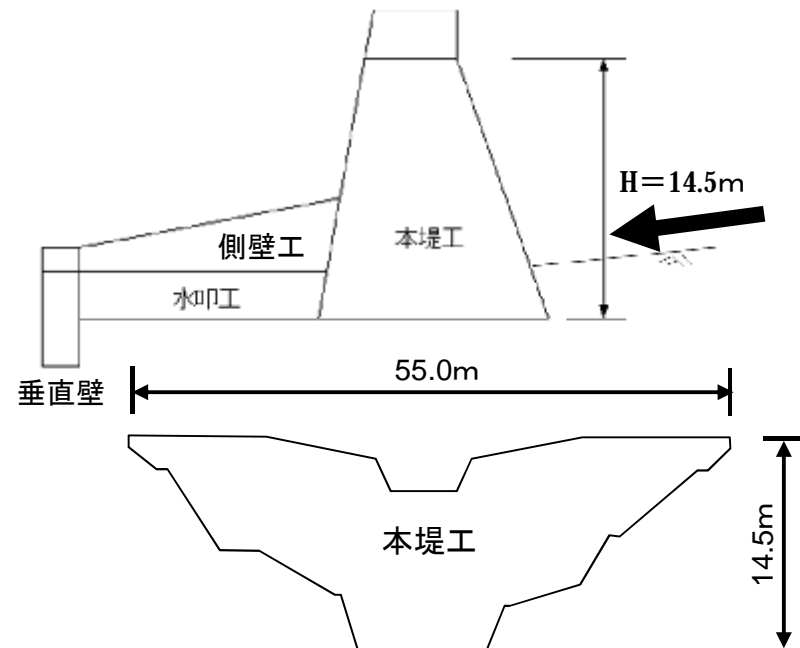
○費用便益比 2.64 (2.70) 【2.2%減少】

〈変更理由〉人口分布変化等による人的被害額の減少に伴う費用便益比の減少

○進捗状況

全体 9%

0.2/2.2 (億円)
用地 0%
0.0/0.4 (億円)
工事 0%
0.0/1.6 (億円)

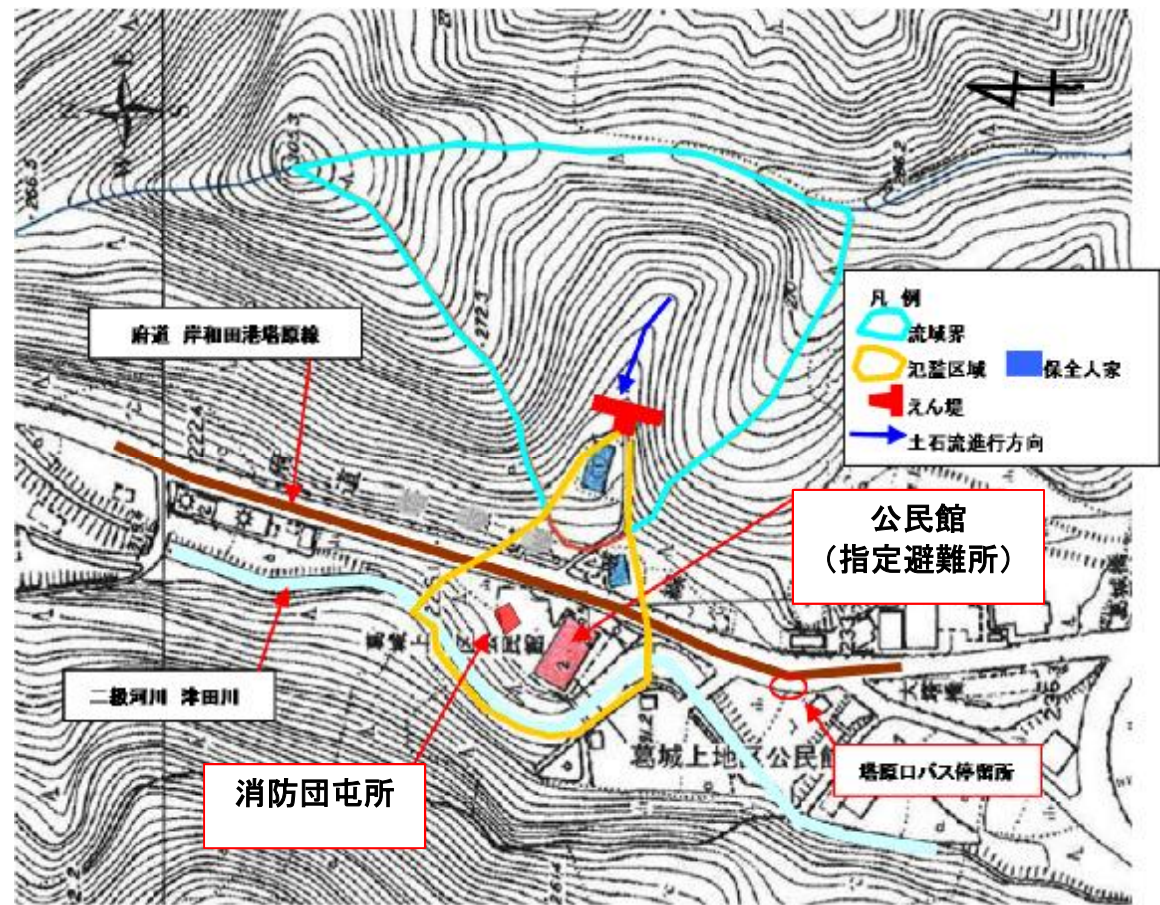


津田川第1支溪砂防事業

再評価要件 事業採択後5年間未着工

事業概要

土石流の発生による災害から、府民の生命・財産を保護するため、砂防えん堤を整備する



津田川第1支溪砂防事業

事業内容

砂防えん堤 1基 高さ $H=13.5\text{m}$ 幅 $W=55.0\text{m}$

- **工期 H21 ~ H29 (H25) 【4年延期】**
〈変更理由〉用地境界の確定に日数を費やしたため
- **全体事業費 1.8億円 (国0.9億円、府0.9億円) 【変更なし】**
- **費用便益比 2.17 (2.36) 【8.1%減少】**
〈変更理由〉人口分布変化等による人的被害額の減少に伴う費用便益比の減少

- **進捗状況 全体 5%**

0.1/1.8 (億円)
用地 0%
0.0/0.3 (億円)
工事 0%
0.0/1.3 (億円)

